

【別表1】認定遺伝カウンセラー資格更新のための研修と単位数一覧（2025年4月更新）

資格更新のための研修・実績	単位数	備考
A：学術集会への参加		
日本人類遺伝学会	10	各学術集会毎に付与
日本遺伝カウンセリング学会		
日本人類遺伝学会 Education Program	2	指定セッション毎に付与（上限6単位/学術集会）
日本先天代謝異常学会	8	各学術集会毎に付与
日本小児遺伝学会		
日本遺伝子診療学会		
日本先天異常学会		
日本産科婦人科遺伝診療学会		
日本遺伝性腫瘍学会		
National Society of Genetic Counselors	8	各学術集会毎に付与
International Congress of Human Genetics		
American Society of Human Genetics		
American College of Medical Genetics		
European Society of Human Genetics		
B. 所定の学会が主催しているセミナー・研修会		
遺伝医学セミナー	5	主催：日本人類遺伝学会
遺伝カウンセリング研修会	備考 参照	主催：日本遺伝カウンセリング学会 1日参加：4単位、2日参加：8単位
遺伝カウンセリングアドバンスセミナー	8	主催：日本遺伝カウンセリング学会
遺伝性腫瘍セミナー	備考 参照	主催：日本遺伝性腫瘍学会 講義のみ：5単位、講義+RP（90分）：8単位
臨床細胞遺伝学セミナー	5	主催：日本人類遺伝学会
日本先天代謝異常学会セミナー	5	主催：日本先天代謝異常学会
遺伝子診断・検査技術推進フォーラム 公開シンポジウム	5	主催：日本遺伝子診療学会
C. 認定遺伝カウンセラー制度委員会が認定した研修会		
東北家族性腫瘍研究会学術集会 （主催：東北家族制腫瘍研究会） 【認定更新：2024年2月】（認定期間：5年）	備考 参照	<ul style="list-style-type: none"> ・認定遺伝カウンセラー制度第17条に基づいて認定遺伝カウンセラー制度委員会が認定する研修会 ・認定研修会の申請は、各研修会の主催者が行う ・単位数は認定制度委員会が定め、主催者に通知する（同じ名称の研修会でも内容・時間により認定される単位数が異なることがある） ・単位数は、各研修会の実施後に主催者が発行した認定証に記載される
YOKOHAMA遺伝カンファランス （主催：神奈川遺伝カウンセリング研究会） 【認定更新：2023年12月】（認定期間：5年）		
主催者が開催ごとに申請し、その都度認定された研修会は 欄外（※1）参照		

D 業績		
所定の学会（A）の学術集会における 臨床遺伝・遺伝カウンセリングに関連する演題発表 （口演・ポスター）	備考 参照	筆頭演者：5単位、共同演者：1単位
所定の学会（A）以外の学会の学術集会における 遺伝医学・遺伝カウンセリングに関連する演題発表 （口演・ポスター）	備考 参照	「参加証」「学会プログラム」「演題抄録」の添付必須 （コピー可） その内容を当制度委員会で確認し適切と認められた場合に限 る。 筆頭演者：5単位、共同演者：1単位
所定の学会（上記A）あるいは所定の研修会（上記B・ C）における 特別講演／教育講演の講師、シンポジスト、講義担当 者	8	本人が講演・講義した場合に限る （留意） 院内研修会などでの講演は該当しない
臨床遺伝・遺伝カウンセリング関連の原著論文 掲載	備考 参照	筆頭者：10単位、共著者：2単位 ・ 遺伝医学、遺伝カウンセリングに関連した原著論文であれ ば、遺伝医学に特化した専門誌でなくても可 （留意） 書籍の分担執筆や編集担当は該当しません
E. その他 欄外（※2）参照		

※1 主催者が開催ごとに申請し認定された研修会（2024年度のみ抜粋）

第3回交流会～九州の遺伝医療をもりあげよ～ね～

第1回千葉県遺伝医療研究会

第26回北海道出生前診断研究会

第30回生前から小児期にわたるゲノム医療フォーラム

第16回日本レックリングハウゼン病学会学術集会

第4回遺伝医療地域活性化フォーラムin中国四国

第8回国際妊孕性温存学会学術集会（略称：ISFP2024）

第5回せとうち臨床遺伝研修会

第12回遺伝性腫瘍研究会

第11回東海遺伝カウンセラー研修会

第2回千葉県遺伝医療研究会

第7回九州山口遺伝看護・遺伝カウンセリング研究会

第5回日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構（JOHBOC）学術総会

第45回北陸臨床遺伝研究会・第1回日本遺伝カウンセリング学会地域活性化委員会（北信越地域）合同開催

2023年度以前に認定された研修会で主催者が発行した認定証は有効

※2

認定更新までの5年間の間に上記A～Dの研修にて50単位の習得ができなかった場合には、遺伝カウンセリングの実績で補うことが可能（ただし、遺伝カウンセリングの実績提示だけでの50単位は不可）。事例提示は、家系図、主訴、遺伝学的／心理社会的アセスメント、提供された情報・遺伝医療、フォロー計画・経過を2ページ内にまとめて提出すること。提出された書類の内容を制度委員会にて確認し、不備・不足がない場合に1事例あたり2単位を認める。